

平成30年度 寝屋子の島留学募集要項

1 受入れの条件

- (1) 答志島の大自然の中で豊かな思い出を作ろうとする健康な小学1年生から中学3年生までの児童・生徒（以下「児童」という）
- (2) 児童、保護者の双方が寝屋子の島留学の趣旨をよく理解し、熱意があること

2 募集人員 里親留学 2名、家族留学 1家族、孫戻し留学 1名

3 留学期間 1ヵ年（平成30年4月1日～31年3月31日）

4 委託料

- (1) 里親留学 月額6万円（保護者4万円、市助成金2万円）
他に学校給食費、学校教材費等児童にかかる経費は、保護者負担とします
- (2) 家族留学 原則として保護者の自己負担（留学支援補助として、第一子については、月額2万円、第二子以下については月額1万円を2年間支給）
- (3) 孫戻し留学 原則として保護者の自己負担（留学支援補助として、1人につき月額1万円を2年間支給）
- (4) 里親留學生にかかる傷害保険料 年額6,500円程度（実施委員会助成後）

5 募集期間 平成29年10月10日（火）～平成29年12月15日（金）

6 事前見学会 10月21日 土曜授業（小、中）、11月3日 文化祭（中）、
12月2日 餅つき（小、中、島民）

※上記の見学会以外でも可能な限り随時対応させていただきますのでご相談下さい。

7 説明会・選考面接 平成29年12月25日（月）10:00～

会場 答志コミュニティセンター

- (1) 答志小学校や里親（候補）世帯の見学
- (2) 寝屋子の島留学に関する説明会及び個別面談等

8 応募方法 下記、寝屋子の島留学実施委員会事務局までお電話下さい。
受付後、詳しい資料等を郵送またはFAX、メールします

9 選考方法 応募者の多少に関わらず、選考委員会による厳正な選考の上、
決定します

応募・お問合せ先

「寝屋子の島留学実施委員会」事務局

所在地 〒517-0022 鳥羽市大明東町1番6号（鳥羽市教育委員会事務局内）

TEL 0599-25-1265 FAX 0599-25-1263

MAIL gakumu@city.toba.lg.jp

< 鳥羽市と答志島の紹介 >

鳥羽市は、三重県の東端部に位置し、4つの有人離島をはじめとする離島部と半島部から構成され、変化に富んだ海岸線を中心に数多くの自然の景勝を有しており、全域が伊勢志摩国立公園に指定されています。

岬や海底は、良好な岩礁部であるため、古くから女性が体ひとつで素潜り漁をする「海女文化」が根付いており、鮑、さざえ、うに、なまこなどを漁獲し、また、刺し網、一本釣り、黒のり・ワカメ・牡蠣養殖なども盛んに行われています。

答志島は、鳥羽港の北東約 2.5km に位置する鳥羽市最大の島であり、答志（とうし）、答志和具（とうしわぐ）、桃取（ももとり）の3集落があります。地形は、総面積 6.98k㎡、周囲 26.3km で、島の 80% が自然林で占められています。

産業面は、漁業と観光の調和のとれた地域振興を目指しており、地元の良さを活かした地域ビジネスの展開に向け、取り組んでいます。

交通体系については、市営定期船が佐田浜港から答志、和具行きと桃取行きの2区間に分かれてそれぞれ1日8~10便運航しています。

< 答志小学校、答志中学校の紹介 >

学校のある答志島は、鳥羽港から定期船で20分弱の沖合に浮かぶ伊勢湾最大の離島であり、鳥羽市の無形民俗文化財に指定されている寝屋子制度が残っています。小中学校とも島の豊かな自然と温かい人情を財産に、島と共に歩んできた歴史を持つ学校であり、子どもたちは、素直で明るくおおらかです。

平成29年度は、小学校が6学級；児童数66名；職員数15名、中学校が3学級；生徒数53名；職員数14名となっております。校区内にある唯一の保育所から小学校に入学し中学校卒業まで一緒のため、互いのことをよく知っており、家族的な雰囲気があり、上の学年を「にい」「ねえ」と呼び、放課後など学年をこえて一緒に遊ぶ姿もよく見られます。

小学校では、確かな学力と豊かな感性を身につけ、心身ともにたくましい児童の育成をめざし、少人数教育の良さを生かし、地域・PTAの協力も得ながら島の自然や文化を学んでいます。食のフェスタや稚魚稚貝の放流パレード、保小中合同運動会など答志島ならではの行事がたくさんあります。

中学校では、「教科学習」「ふるさと学習」（わかめの養殖体験や藻場再生事業体験学習）「自問学習」の相乗作用を土台として、ふるさとを大切に、「自信」と「誇り」を持って、これからの自己の生き方を切り拓いていく生徒の育成をめざして教育活動を行っています。